

# 短編小説を用いた大学英語の授業\*

## —Katherine Mansfield を中心に—

高橋 和子

### 要旨

The main purpose of this paper is to reconsider the content of literary materials used in Japanese university English textbooks chiefly from a practical standpoint. The first chapter gives a general overview of the fact that literary works have been isolated from Japanese English teaching against the background of the communication-centered language education. The second chapter analyzes the characteristics of university English textbooks in which Katherine Mansfield's short stories are used as their main materials. Through this analysis, the problems of traditional types of literary materials are pointed out. The last chapter suggests the conditions of ideal literary materials for Japanese university English teaching in order to utilize literature in our future classrooms.

**キーワード** : 文学作品, 大学英語, 読解教材, 短編小説, Katherine Mansfield

### はじめに

本稿のおもな目的は、日本の大学英語の授業で用いる文学教材のあり方を、実践的な側面から見直すことである。分析の方法としては、まず大学英語教育において文学教材が置かれてきた状況の変化を概観する。さらに、Katherine Mansfield の作品を題材にした従来の大学英語教科書に焦点をあてて、これまでの文学教材の特色および問題点を考えたい。さらにこれらの状況を踏まえた上で、今後の文学教材のあり方を実際の授業案に基づいて提案したい。

#### 1. 大学英語教科書における文学教材—「脱文学」化現象—

近年、文学教材が大学英語の授業から減少している点については、もはや周知の事実になりつつある。『現代英語教育』編集部が1984年から1994年の期間を対象に行なった「大学の英語教科書の出版点数」に関する調査によると、1990年頃から文学作品を

扱う教科書が徐々に減少しはじめた<sup>1)</sup>。さらに1992年には、イギリス小説を扱う教科書が600件を、アメリカ小説を扱う教科書が400件を、それぞれ下回りはじめる。逆に増加傾向をたどるのは「会話・LL・リスニング」、これらを統合したような「総合教材」で、1992年にはアメリカ小説の出版点数を、1994年にはイギリス小説のそれを超えるまでになった。「目で見る英語教育」(1993) また江利川(1998)は、大学の英語教科書の新刊数に注目し、1998年には文学を扱う教科書が全新刊数の3.4%に落ち込んだと指摘した上で、会話・リスニング・時事英語などが主流になったと論じている。さらに大学英語教科書協会のデータによると、2009年度は文学関係のジャンル(イギリスおよびアメリカの小説・物語・詩歌・戯曲、小説選集など)に属する新刊教材はまったく出版されなかった。その一方で新たに出版された教材のうち件数が多いジャンルは、LL・リスニング27件、TOEIC・TOEFL対策21件、時事英語21件、英会話9件、コミュニケーション6件である。これらのジャンルの教科書は<実践的>な内容を扱っていると見なされることが多く、近年着実に出版件数を増やしている<sup>2)</sup>。

先に1990年代頃から、大学英語教科書の文学教材が減少しはじめた点にふれた。この年代には、日本の外国語教育をめぐる状況にどのような変化が起きたのだろうか。おもな事項を(表1)にまとめる：

**表1：日本の外国語教育をめぐるおもな動き(1990年代以降)**

1989年	中学・高等学校学習指導要領改訂(各々1990・1991年度から施行) 外国語学習の目標ではじめて「コミュニケーション」という言葉を使用 高校でオーラルコミュニケーションA・B・Cの3科目を新設
1990年	大学入試センター試験(第1回)実施 (2000年頃を境に、読解問題の中に会話を含む問題が増加)
1991年	大学設置基準の大綱化 多くの大学で改組・再編がはじまる (1995年には、東京経済大学に国内初の「コミュニケーション学部」ができる)
1998年	中学校、1999年高等学校学習指導要領改訂(各々2002・2003年度から施行) 外国語教育の目標は「実践的コミュニケーション能力を養う」こと
2003年	『英語が使える日本人』の育成のための行動計画 コミュニケーション、話す、会話という言葉が多用される
2006年	大学入試センター試験(英語)にリスニング試験導入
2008年	中学校、2009年高等学校学習指導要領改訂(各々2012・2013年度から施行) 外国語教育の目標は「コミュニケーション能力を養う」こと

上の表から明らかなように、近年はコミュニケーション能力育成を主眼に置いた外国語教育が中心で、文学作品をじっくりと読み解く余裕のない体制と言えよう。このような背景の下、大学英語教材の「脱文学」化が着実に進んだのである。(江利川, 1998)

## 2. これまでの文学教材とこれからの文学教材

### —Katherine Mansfield を題材にした大学英語教科書を中心に—

前章では、コミュニケーション能力育成を目指す教育体制の下、大学英語教科書から文学作品が減少した点にふれた。本章では Katherine Mansfield の作品を扱った既刊の教科書に焦点をあてたい。

### 2. 1 これまでの文学教材

大学英語教科書の題材に選ばれてきた作家・作品は多岐にわたるが、中でも Mansfield は優れた短編小説を描いた作家として知られ、さまざまな出版社が彼女の作品を教材化してきた<sup>3)</sup>。その一方で、Mansfield の作品を扱った教科書は、1998 年度には 44 件あったが、2009 年度にはわずか 7 件にまで落ち込んでいる<sup>4)</sup>。このように出版件数が減少した Mansfield 作品の教科書を通して、従来型の文学教材の特色および問題点を探る糸口にしたい。以下、1950 年代～1990 年代に初版が出版されたおもな出版社の教材名・注釈者名などを初版年度順に概観する。なお、詳細は Appendix の別表を参照されたい。

#### ・ *Her First Ball and Other Stories* (堀大司注, 英宝社)

初版 1952 年, 現在(2009 年 6 月 10 日)は絶版扱い<sup>5)</sup>。「はしがき」, 原文 7 作品, 作品ごとの“Notes” (和文主体。作品の概要, 語句の意味・発音・文法, 文化的背景の説明など) から構成される。音声教材は付属していない。

#### ・ *The Garden-Party and Other Stories* (岩崎民平注, 研究社)

初版 1955 年, 新装版 1992 年出版, 『研究社小英文叢書』シリーズの 1 冊。現在は品切れ状態<sup>6)</sup>。「はしがき」, 原文 5 作品, 作品ごとの“Notes” (英文主体。語句の意味・発音など) から構成される。原文に対して注が少ない。音声教材は付属していない。

#### ・ *The Voyage and Other Stories* (上島建吉注, 北星堂)

初版 1977 年, 現在は絶版状態<sup>7)</sup>。構成は, 「はしがき」, 原文 5 作品, 作品ごとの“Notes” (和文主体)。教科書本体以外に教師用の指導書 (和文中心。語句の意味・発音, 文学史に関する説明など) がある。音声教材は付属していない。

#### ・ *In a German Pension* (内田道子注, 英潮社)

初版 1977 年, 現在も入手可能。Penguin 版のテキスト (ペーパー・バック。原文 13 作品) と, 別冊の注から構成される。一見, 難解に見える原書に詳細な注釈を付けることで, 読みやすいレベルの教材に仕上げている。音声教材は付属していない。

• ***The Garden-Party and Other Stories* (真田時蔵・関憲治注, 成美堂)**

初版 1978 年, 現在も入手可能。「はしがき」, 原文 6 作品, 作品ごとの“Notes” (和文主体。語句の意味・発音・文化的な背景の説明, 文法事項の説明など) から構成される。原文の分量に対して注釈がかなり詳しい。音声教材が付属。

• ***Seven Short Stories by Katherine Mansfield* (木村公一注, 三修社)**

初版 1981 年, 現在も入手可能。「はしがき」, “Introduction” (作者の略歴など), 原文 7 作品, “Notes” (和文主体。語句の意味・発音・文法, 文化的背景の説明など) の他に, “For Discussion” (ディスカッションのための課題) がある点が特色的。音声教材が付属。

• ***The Wrong House & Other Stories* (廣田稔注, 開文社)**

初版 1986 年, 現在も入手可能。B6 判を中心にした他のテキストと比較すると判型が大きい (A5 判)。構成は, 「はしがき」, 原文 6 作品, “Notes” (和文中心)。文法などに関する注釈はかなり平易なレベルまで及ぶ。音声教材は付属していない。

• ***The Doll's House and Other Stories* (上島建吉注, 栄光社)**

初版 1989 年, 現在も入手可能。モノクロながら写真 (作者, 作品の背景などに関するもの) を載せている他, “Notes” にも図やさし絵を加え, 視覚的な面で工夫が施されている点が特色的。その他の構成は, 「はしがき」, 原文 6 作品, “Notes” (和文中心。語句の意味・発音・文法, 文化的背景の説明など)。音声教材は付属していない。

• ***The Garden-Party & Other Stories* (西原忠毅・小倉多加志注, 南雲堂)**

初版 1961 年, 1990 年に改装新版を出版, 現在も入手可能。A5 判を用い, 英文のフォントを拡大。構成は, 「はしがき」, 原文 6 作品, “Notes” (和文主体。語句の意味・発音・文法・文化的背景の説明など)。音声教材が付属。

## 2. 2 これまでの文学教材からこれからの文学教材へ

前項では, Mansfield の作品を題材にした大学英語教科書を通して, 従来の文学教材の特色を概観した。多少の差はあるものの, 各教材は「はしがき」, 原文, “Notes” から構成され, 音声教材が付属していない場合が多い。

これらの教科書は, どのような方法で学習者の英語力を高めようとしているのだろうか。 *The Voyage and Other Stories* (北星堂) の「はしがき」には, 次のように記されている:

[本教科書に掲載されている] 5 つの短編のそれぞれから, あるいはそれら全体から, 恋愛について, 青春について, あるいは生きることの意味についてどのような判断を下し, いかなる感想を抱くかは読者各自の問題である…読者はやはり原文を一語一語, その意味と含蓄を確かめながら読み, 考え, そして自分自身の訳を作り出すことが必要なのである。(上島, 1977: vi)

上の注釈者の方針は、従来型の文学教材に多かれ少なかれ共通している点であろう。そして、このような教材を通して養われるおもな力は、丁寧に辞書を調べた確かな意味を選び取る力、原文の意味を正確に読み取る力、作者が作品に込めたメッセージを受け止めて学習者自身の考えを深める力、などである。確かにこれらの能力は、渡辺(2001)も強調するように、「英語読解力」を身につけ「論理的なものの考え方」を養う上で不可欠である。(渡辺, 2001: 5) その一方で、コミュニケーション能力育成に主眼を置いた近年の英語教育が置かれた状況を考慮すると、従来型の文学教材には再考の余地が残る。これまでの文学教材を用いて授業を行なう際に直面する問題として、文字中心で音声面の学習が行ないにくい点、重点的に学ぶ「言語材料」を学習者自らが気づきにくい点<sup>8)</sup>、教師から学習者への一方的な授業展開を生みやすい点、時間制約上多彩な活動を行ないにくい点、学習者が予習・復習を効率的に行ないにくい点、などがあげられる。

以上の問題点を踏まえて、今後の文学教材に求められる条件をまとめたい：

1. 音声面の教育も導入可能
2. 重点的に学ぶ言語材料が明示されている
3. ペア／グループワークを含んだ、多彩な活動に発展可能
4. 学習者の状況や学習の進度に応じて、授業内容の調整が可能
5. 学習者が、効率的に予習・復習を行なうことが可能

次章では、上の5点を考慮しながら、実際の授業に即した文学教材を提案したい。

### **3. Katherine Mansfield の短編を取り入れた、これからの大学英語の授業**

本章では、Mansfield の代表的な短編小説の1つ“The Garden Party”を用いた教材例を提示したい。この短編は、Mansfield の作品を題材にした大学英語教科書でも、繰り返し取り上げられてきた。

教材を検討するに先立って、授業全体の枠組みを仮に設定したい。受講者は大学1年生(1クラスの人数は30名程度)、授業科目は「一般英語」、基礎レベルのクラスと想定する。使用する教材は、印刷教材(テキスト)、インターネットに接続できるコンピューター(パワー・ポイントやホーム・ページを提示する際に使用)、音声教材(CDやDVD)である。

今回は大まかに「一般英語」のクラスと設定したが、実際にこのような教材を授業で用いる場合は、受講者の状況(どの程度基礎的な英語力があるか、どのような専攻に所

属しているか、どのような内容に興味・関心を抱くかなど)に十分配慮する必要があるだろう。受講者の専攻によっては、たとえば1時限(90分間)すべてを文学教材の学習にあてるのではなく、前半を文学教材、後半を新聞・雑誌・インターネットなどから収集した記事の学習にあてる方法がある。また、文学教材を連続3時限程度扱ったら、次の3時限程度では、別のジャンルのテキストを取り入れるなどの方法もある。換言すれば、特定の教材に偏ることなく、バランスよくさまざまなテキストを扱うことが必要であろう。大学英語教育学会授業学研究委員会(2007)は、近年の日本の大学英語教育の問題点の1つとして、「授業の種類への偏り」をあげている。「音声による発話ややりとりを中心とした活動(oral communication)」を行なう授業が増える一方で、「文学の面白さを伝える授業」、「ことばの意味の深奥に迫る授業」、「翻訳の妙味に挑戦する授業」といった授業事例が少ないと指摘している。そしてこの現象は、「過去の教養主義的英語教育への反動および現代のコミュニケーション主導の時代の反映とも受けとれる」と説明している(大学英語教育学会, 2007: 260; 304)。このような問題点を少しずつ改善するためにも、受講者の状況に十分配慮しながら、文学を含めた多彩な教材をさまざまな学習・教育方法で取り上げるバランス感覚が、今後は必要ではないだろうか。

また、以下の「3.1 導入」、「3.2 読解」、「3.3 文法事項」で紹介する教材は、週に1回(90分間)の授業3回分で扱うものと仮に設定する。3.1は初回、3.2と3.3は2・3回目の授業でおもに扱う。特に3.3は、基礎レベルの説明と練習問題が中心のため、授業では基本確認や答え合せを行い、おもに自宅学習に任せたい。これらの練習問題は、宿題にして提出を求めるという方法もある。いずれにしても、本稿2.2の最後で今後の文学教材に求められる条件4.としてまとめたように、以下にあげる教材は学習者に応じて調整しながら用いることを想定して作成した。

### 3. 1 導入：物語の説明，読解前の準備，読解のポイント，課題

文学教材を用いて英語の授業を行なう際、作品全体を取り上げることが無理想だが、授業の状況に応じて臨機応変対応できるような教材作りを行なう必要がある。今回は、“The Garden Party”の冒頭部に焦点をあてた教材を紹介したい。

教材は印刷物の形で配布する。授業の導入部では、1) 物語の説明、2) 読解前の準備、3) 読解のポイント、4) 課題を扱う。以下の囲みに1)～4)に該当する印刷教材を示す：

#### 本日の読解教材

今日は、Katherine Mansfield 作 “The Garden Party”の冒頭部分を読みます。

**1) 物語の説明：**今日は待ちに待った garden party の日。3人娘のメグ (Meg), ジョーズ(Jose), ローラ(Laura ; 主人公)は、我が家の庭で催されるパーティーの主人役をつとめることになりました。いつもならばお母さん (Mrs Sheridan) が何から何までやってくれるのに、今日は3人が力をあわせてお客様をもてなさなければなりません。さあ早く準備をはじめなければ。果たしてパーティーは成功するでしょうか。

## 2) 読解前の準備

①あなたは“garden party”に行ったことがありますか？ “garden party”とはどのようなものなのか考えましょう。その上で、この語彙の意味をいろいろな英英辞典で調べましょう。

②and の品詞, 意味, 用法に関してどのようなことを知っていますか？

すでに理解している点をまとめてから, and を大きな辞書や文法書で調べましょう。

## 3) 読解のポイント：接続詞に注目しましょう

本文 A. はリトールド版, B. は原文です。両者を比較しながら, 接続詞の意味・役割を考えましょう。特に, 原文ではリトールド版で省略されている“**And**”で本文がはじまっている点に注目しましょう。(原文を読む際は日本語訳を参照してください)

## 4) 課題

①原文の日本語訳の ( ) に, “**And**”の意味を書き加えましょう。

②原文の冒頭に“**And**”がある場合とない場合とを比較し, 意味の違いを考えましょう。

③リトールド版は, 原文のあらすじをそのまま用いながら, 語彙や文法を平易に書き換えたものです。リトールド版と原文を比較してどのようなことを考えましたか。

1) では, 物語全体の設定と, 登場人物の紹介を簡単に示す。2) ①では, “garden party”を英英辞典で調べる課題を出す。この語句を英和辞典で調べると「園遊会」と訳されることが多く, 日本人は宮内庁関連の行事を想起しがちである。このような混同を避けるため, あらかじめ作品に即した意味を把握しておく。2) ②では, この読解教材を通して学ぶ文法事項をあらかじめ示し, 各自の予備知識を確認する課題を出す。1970年代後半から1980年代にかけて特に注目され, 現在でも影響力を持つスキーマ (schema) 理論によると, 文章を読んだり聞いたりする活動をはじめる前に学習者の先行知識を活性化させると, 新たに与えられる学習内容がより正確に理解できると言われている。(Alderson, 2000); (山田, 2006)このようなスキーマ活性化の取り組みは文学教材を用いて英語の授業を行なう際にも可能であり, しかも重要な点であろう。

さらに3)と4)では, 読解を行なう上でのポイントと課題を事前に示し, 学習者が目的を持って読解教材に取り組めるように工夫をする。これらの課題を提示する際は, 受講者の状況に応じて適切に対処したい。たとえば4)の①の課題は, 正確な解

釈を行なうためには、作品全体の展開を理解する必要がある。そこで、授業初回では暫定的に解答を出しておき、作品全体の展開がつかめた段階で再び取り組むと、作品冒頭部の重要性を確認することができる。この点については次項で改めて言及したい。

### 3. 2 読解：本文，ペア／グループワーク

導入的な活動の後，5) 本文の読解と，6) ペア／グループワークを行なう。以下の囲みに5)，6) に該当する教材内容を示す：

#### 5) 本文

##### A. リトールド版 “The Garden Party”の冒頭

It was a perfect day for a garden party. The gardener had been working since early in the morning, cutting the grass. (Mansfield, retold by Ward, 1991: 45)

##### B. 原文 “The Garden Party”の冒頭

And after all the weather was ideal. They could not have had a more perfect day for a garden party if they had ordered it. Windless, warm, the sky without a cloud. Only the blue was veiled with a haze of light gold, as it is sometimes in early summer. The gardener had been up since dawn, mowing the lawns and sweeping them, until the grass and the dark flat rosettes where the daisy plants had been seemed to shine. (Mansfield, 1922, reprinted 1951: 65; square is mine)

原文の日本語訳：( ) 天気はまったく上々となった。たとえあつらえたとしても、それ以上、園遊会ガーデン・パーティーにもってこの日は得られなかったであろう。風はないし、暖かで、空には一点の雲もなかった。ただ空の青さに、ときどき初夏のころに見るように、明るい金いろの霧もやがうすくかかっていた。園丁はもう夜明けから立ち働いて、芝生を刈ったり掃いたりして、芝生と、前にヒナギクのあった黒い平らな薔薇形ばらがたの花壇までが輝くようになった。(マンスフィールド, 1957, 「園遊会」, 安藤訳: 8)

#### 6) ペア／グループワーク

①上の原文 B. では、従位接続詞が何種類か使われています。従位接続詞と思われる単語に丸をつけ、意味・用法を考えましょう。さらに、全体の意味が把握できた上で、音読をしましょう。

②以下は原文 B. の続きの場面です。接続詞の意味・用法を考えながら読みましょう。さらに、全体の意味が把握できた上で、音読をしましょう。

As for the roses, you could not help feeling they understood that roses are the only flowers that impress people at garden parties; the only flowers that everybody is certain of knowing. Hundreds, yes, literally hundreds, had come out in a single night; the green bushes bowed down as though they had been visited by archangels.



Breakfast was not yet over **before** the men came to put up the marquee.

"Where do you want the marquee put, mother?"

"My dear child, it's no use asking me. I'm determined to leave everything to you children this year.

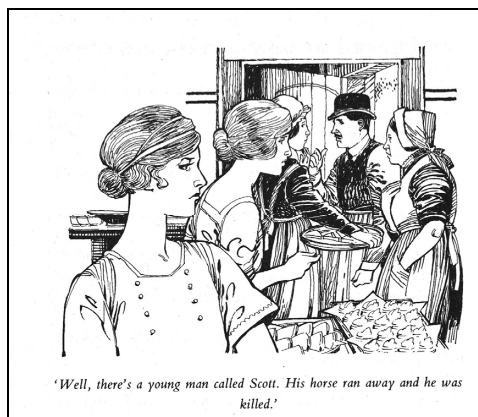
Forget I am your mother. Treat me as an honoured guest."

**But** Meg could not possibly go **and** supervise the men. She had washed her hair before breakfast, **and** she sat drinking her coffee in a green turban, with a dark wet curl stamped on each cheek. Jose, the butterfly, always came down in a silk petticoat **and** a kimono jacket.

"You'll have to go, Laura; you're the artistic one."

Away Laura flew, still holding her piece of bread-**and**-butter. It's so delicious to have an excuse for eating out of doors, **and** besides, she loved having to arrange things; she always felt she could do it so much better **than** anybody else. (Mansfield, 1922, reprinted 1951: 65-66; square is mine)

③ 次のさし絵は、やがてこの物語で起きる事件に関するものです。さし絵の説明文  
"Well, there's a young man called Scott. His horse ran away and he was killed."を読んで、  
この後の話の展開を自由に考えましょう。(Mansfield, retold by Ward, 1991: 48)



5) 本文では、リトールド(retold)版・原文・翻訳を併記した。文学作品を教材にする際、原文以外を用いるか否かについては、賛否両論がある。(McKay, 1982); (Collie & Slater, 1987)今回は、「一般英語」の授業でしかも基礎レベルの学習者を想定しているため、敢えて3種の教材を併記した。これらを用いることによって、学習者が原文を翻訳することにとらわれすぎることなく、3種教材の共通点・相違点を比較できる。たとえばリトールド版と原文を比較した場合、冒頭の1語がリトールド版は“**It**”，原文は“**And**”からはじまっている。両者の差異を通して、接続詞**and**は通例文頭では用いないという、一般的な文法規則を超えた表記がこの作品では用いられている意図を考えることができる。

6) は、<教師→学習者>という一方向的な授業展開に陥ることなく、<学習者⇄

学習者>という双方向の授業を実現するための項目である。6) ②では、“The Garden Party”冒頭部に続く場面を原文のまま掲載しているが、今回の学習目標になっている接続詞を四角で囲むことによって、学習者の注意を自然と向けるようにしている。このような書記法上の工夫は、近年注目する研究者が多いフォーカス・オン・フォーム (focus on form) でも取り上げられている方法であるが、文学教材を用いた授業にも取り入れることが可能である。(White, 1998)

6) ③では、リトールド版のさし絵を取り入れることによって、物語の今後の進展を視覚的に理解した上で、ディスカッションを行なえるような仕掛けを作っている。この課題を行なった後で、作品全体のあらすじを原文・リトールド版・日本語訳などを使って確認し、「3. 1 導入」で示した課題を再考すれば、原文冒頭部分“**And**”の意義をより深く考える機会になるだろう。なお、作品全体の展開を理解する学習方法にも、工夫の余地がある。たとえば文学系の受講者が多い場合は、原文またはリトールド版を一読して、話の展開を把握する活動を取り入れたい。また、法経系や理工系の受講者が多い場合は、日本語訳を読み、全体のあらすじを理解する方法がある。(ちなみに日本語訳は、文庫本の頁数に換算すると、27 頁程度である。) さらに、作品全体の展開を受講者個人で理解することが困難な場合は、場面ごとに担当するグループを決めて、話の展開を発表し合うなどの工夫もできる。いずれの場合も、受講者の状況を考慮しながら、課題を扱う必要があるだろう。

さらに6) ①, ②では音読を行なう課題をあわせて出す。音声面の学習を行なう際は、本文を録音した CD や、原作を映画化した作品の DVD などが比較的入手しやすい教材だろう。また、インターネット上の動画共有サイト (You Tube など) にも、興味深い教材が見つかることがある<sup>9)</sup>。これらのサイトは、著作権に十分配慮し、優れたものを注意深く選び取れば、今後新たな音声教材として活用できる可能性が高い。

### 3. 3 文法事項：基本確認，練習問題

最後に、今回選んだ文学作品の中で、注目する文法事項 (接続詞) を取り上げる。本稿 3. の冒頭でも述べたように、文法事項は、授業中には基本確認や答え合せにとどめ、おもに自宅学習にあてたい。以下の囲みに7) 基本確認, 8) 練習問題A, 9) 練習問題Bに関する印刷教材を示す：

#### 本日の文法事項

7) 基本確認 (注：今回は、サンプルとして一部の等位接続詞のみ扱った)

#### 復習 1

①接続詞 (conjunction) の種類

・等位接続詞：and, but, 選択や換言の意味で用いる or, 結果を表す so, 理由・根拠を表す for など

・従位接続詞：時を表す when, before, until や,原因・理由を表す because,条件を表す if, 様態・比較を表す than, as though, 名詞節を作る that など。従属接続詞ともいう

## ②等位接続詞 and, but の役割と意味

・役割：語と語, 句と句, 節と節を対等の関係でつなぐ「接着剤」

・意味：**and** (～と..., そして) =複数のものをつなぐ

**but** (しかし) =but の前と後が, 内容的に矛盾や対立する場合に用いる

③例文：Meg and Jose are both late-risers. (メグとジョーズは2人とも朝寝坊だ)

This morning, Laura was busy but happy. (今朝, ローラは忙しかったが, 幸せだった)

## 復習 2

### ①命令文と and

・意味：「**命令文+and...**」 = 「～しなさい, そうすれば...」

②例文：Hurry up, Jose, and you will have time to eat breakfast. (急ぎなさい, ジョーズ, そうすれば朝ごはんを食べる時間がありますよ)

**8) 練習問題A**：各日本語文に合うように英文の ( ) 内から適当な語を選びましょう。

①ローラは朝食にオレンジジュースと, バタつきパンを食べました。

Laura had some orange juice ( and/or ) a piece of bread (and/or ) butter for breakfast.

②「なるほど私はあなた達のお母さんだけれども, 今日はあなた達の特別なお客様として扱ってちょうだい」と, シェリダン夫人は言った。

“Indeed I am your mother, (and/but ) treat me as an honoured guest today,” said Mrs Sheridan.

③急ぎなさい。そうすればパーティに間に合うでしょう。

Hurry up, (and/or ) you will be in time for the party.

**9) 練習問題B**：次の課題を辞書や参考書で調べましょう。

① and, but にはいろいろな意味・用法があります。各語を辞書で調べ, 面白いと思った例文を1つずつ書きましょう。(but は接続詞として用いられている例文を選ぶように注意しましょう)

② and, but 以外にどのような接続詞がありますか? 色々な接続詞の意味用法を, 最低3つは調べましょう。

7)と8)では, 文法事項の基礎を確認するために“The Garden Party”の文脈に沿った例文を作成する。読解教材と文法事項を学ぶための例文を組み合わせた教材は多くあるが, Widdowson (1984) も指摘するように, 読解文と例文の間に文脈上のつながり

がない場合が多い。一方、文学を通して文法事項をはじめとする言語材料を学ぶ際は、作品の文脈を通してこれらを学べる利点がある。(Duff & Maley, 1990) さらに9)では、やや発展的な学習を行なうための内容・範囲を明確に示し、自習を行ないやすくしている。学習者の英語力を伸ばすために、授業時間内で行なえる活動には限りがある。学習者が自習を行ないやすい教材を作ることが、今後はますます求められるだろう。

## おわりに

近年の日本の英語教育は、コミュニケーション能力を重視し、この能力育成のためにタスク (task) 活動が行なわれる場合が多い。従来の研究は、タスク活動を行なう上でのさまざまな条件を提示してきたが、「言語を用いて、相手に自分の意図を何とか伝えようとする事」、「活動を通して得られる情報が興味深いものであること」、「何でもいえる雰囲気作りを心がけること」などの点は、文学教材を的確に用いて英語教育を行えば必然的に実現できる。(大下, 1996) ;(高島, 2000); (Branden, 2006)

今後、教師 1 人 1 人が学習者とともに試行錯誤を繰り返しながらも創意工夫を凝らし、文学を通して英語を学ぶ楽しさを共有することさえできれば、文学教材を再び教室に取り戻せる日は遠い将来ではない。

## 註

\*本稿は、2009年5月30日、日本英文学会第81回全国大会(於 東京大学駒場キャンパス)において口頭発表をした原稿のうち、教材に関する部分(Katherine Mansfieldの“The Garden Party”を使用した教材例)に加筆・修正を加えたものを、部分的に引用している。

- 1) 1990年頃から文学作品を扱う大学英語教科書が徐々に減少しはじめた点に関しては、以下を参照:「目で見える英語教育」.(1993).『現代英語教育』創刊30周年記念号:102.
- 2) 大学英語教科書協会ホーム・ページ参照: Online. Internet. June 10, 2009. Available: <http://www.daieikyo.jp/> なお、近年文学教材が大学英語の授業から減少している点については、拙稿(高橋, 2009)も参照。
- 3) Katherine Mansfieldの作品を題材にした大学英語教科書の数は、『大学英語教科書目録』(1998)によると第3位、出版件数は44件に及んだ。ちなみに第1位はErnest Hemingwayの50件、第2位はWilliam Somerset Maughamの46件だった。(江利川, 1998)参照。
- 4) 大学英語教科書協会ホーム・ページ参照: Online. Internet. June 10, 2009. Available: <http://www.daieikyo.jp/>
- 5) 以降、本稿で「現在」と言う際、2009年6月10日を指す。なお、絶版の情報は以下による:「英宝社テキストジャンル検索一覧」. Online. Internet. June 10, 2009. Available: <http://www.eihosha.co.jp/text/text-top.html>
- 6) 品切れの情報は以下による: “Kenkyusha Webshop”. Online. Internet. June 10, 2009.

Available: <http://webshop.kenkyusha.co.jp/cgi-bin/search.cgi>

- 7) 絶版の情報は以下による：「(既刊) 大学用テキスト」. Online. Internet. June 10, 2009.  
Available: <http://www.hokuseido.com/index2.html>
- 8) 本稿における「言語材料」とは、中学校・高等学校学習指導要領にならって、音声，文字及び符号，語・連語及び慣用表現，文法事項を指す。
- 9) Mansfield の短編“Miss Brill”をドラマ化した映像と音声，作者の略歴をまとめた資料とともに，以下のページから視聴できる：“Short Biographical Documentary Katherine Mansfield (GonzoGirlFilmmaker Ethnofilms)”. Online. Internet. June 10, 2009. Available: <http://www.youtube.com/watch?v=NtpKpKb7inM>

## 参考文献

- Alderson, J. Charles. (2000). *Assessing Reading*. The Cambridge Language Assessment Ser. Cambridge: Cambridge University Press.
- Branden, Kris Van den. (2006). Introduction: Task-Based Language Teaching in a Nutshell. In Branden, ed. *Task-Based Education: From Theory to Practice*. Cambridge: Cambridge University Press: 1-16.
- Collie, Joanne and Stephen Slater. (1987). *Literature in the Language Classroom: A Resource Book of Ideas and Activities*. Cambridge Handbooks for Language Teachers. Cambridge: Cambridge University Press.
- 大学英語教育学会授業学研究委員会編著. (2007). 『高等教育における英語授業の研究—授業実践事例を中心に』. 東京: 松柏社.
- Duff, Alan and Alan Maley. (1990). *Literature*. Resource Books for Teachers Ser. Oxford: Oxford University Press.
- 江利川春雄. (1998). 「教科書にみる文学作品の変遷史」. 『英語教育』47 (2): 8-10.
- 江利川春雄. (2008). 『日本人は英語をどう学んできたか—英語教育の社会文化史—』. 東京: 研究社.
- 上島建吉. (1977). Foreword. *The Voyage and Other Stories*. By Katherine Mansfield. 上島注. 東京: 北星堂: iii-vii.
- Mansfield, Katherine. (1951). The Garden Party. *The Garden Party and Other Stories*. 1922. Harmondsworth: Penguin: 65-87.
- Mansfield, Katherine. (1952). *Her First Ball and Other Stories*. 堀大司注. 東京: 英宝社.
- Mansfield, Katherine. (1977a). *The Voyage and Other Stories*. 上島建吉注. 東京: 北星堂.
- Mansfield, Katherine. (1977b). *In a German Pension*. Eichosha-Penguin Books. 内田道子注. 東京: 英潮社.
- Mansfield, Katherine. (1978). *The Garden-Party and Other Stories*. 真田時蔵・関憲治注. 東京:

成美堂.

- Mansfield, Katherine. (1981). *Seven Short Stories by Katherine Mansfield*. 木村公一注. 東京：三修社.
- Mansfield, Katherine. (1986). *The Wrong House & Other Stories*. 廣田稔注. 東京：開文社.
- Mansfield, Katherine. (1989). *The Doll's House and Other Stories*. 上島建吉注. 東京：栄光社.
- Mansfield, Katherine. (1990). *The Garden-Party & Other Stories*. 1961. 西原忠毅・小倉多加志注. 東京：南雲堂.
- Mansfield, Katherine. (1991). *The Garden Party. The Doll's House and Other Stories*. Retold by Ann Ward. Harmondsworth: Penguin: 45-57.
- Mansfield, Katherine. (1992). *The Garden-Party and Other Stories*. 研究社小英文叢書 294. 1955. 岩崎民平注. 東京：研究社.
- マンスフィールド, キャサリン. (1957). 「園遊会」. 『マンスフィールド短編集』. 安藤一郎 訳. 東京：新潮社: 7-34.
- McKay, Sandra. (1982). Literature in the ESL Classroom. *Tesol Quarterly* 16(4): 529-536.
- 「目で見える英語教育」. (1993). 『現代英語教育』 創刊 30 周年記念号: 102.
- 本橋光一郎 監修・小川昌宏・下田俊夫著. (2006). 『ガイドブック教育現場の著作権』 . 東京：法学書院.
- 大下邦幸編著. (1996). 『コミュニケーション能力を高める英語授業—理論と実践—』 . 東京：東京書籍.
- 斎藤兆史. (2007). 『日本人と英語—もうひとつの英語百年史—』 . 東京：研究社.
- 清水康敬 監修・中村司・西田光昭・清水俊一 編著. (2006). 『必携！教師のための学校著作権マニュアル』 . 東京：教育出版.
- 高橋和子. (2009). 「文学と言語教育—英語教育の事例を中心に—」. 斎藤兆史 編著. 『言語と文学』. シリーズ朝倉『言語の可能性』 第 10 巻： 148—171.
- 高島英幸編著. (2000). 『実践的コミュニケーション能力のための英語のタスク活動と文法指導』 . 東京：大修館書店.
- 渡辺利雄. (2001). 『英語を学ぶ大学生と教える教師に—これでいいのか？英語教育と文学研究—』 . 東京：研究社.
- White, Joanna. (1998). Getting the Learners' Attention: A Typographical Input Enhancement Study. In Catherine Doughty and Jessica Williams, eds. *Focus on Form in Classroom Second Language Acquisition*. Cambridge: Cambridge University Press: 85-113.
- Widdowson, H.G. (1984). *Explorations in Applied Linguistics 2*. Oxford: Oxford University Press.
- 山田雄一郎. (2006). 『英語力とは何か』 . 広島修道大学学術選書 33. 東京: 大修館書店.
- その他, 各年度の中学校・高等学校学習指導要領, 文部科学省ホーム・ページ(各種審議会答申), 各年度の『英語年鑑』, 『国語年鑑』, 『大学一覧』も参照

Appendix

別表：Katherine Mansfield の作品を題材にしたおもな大学英語教科書の特徴

(絶版などの情報は2009年6月10日現在)

教科書名 (出版状況)	初版	出版社	注釈	判型	構成			音声教材
					はしがき 他	作品数, 頁他	Notes 他	
<i>Her First Ball and Other Stories</i> (絶版)	1952	英宝社	堀大司	B6	はしがき: 5頁 和文	87頁 7作品	“Notes”: 21頁 和文主体 内容→ 作品概要, 語句意味, 発音, 文法, 文化	なし
<i>The Garden-Party and Other Stories</i> (品切)	1955 (1992 新装 版)	研 究 社	岩 崎 民 平	B6 変	はしがき: 2頁 和文	125頁 5作品	“Notes”: 11頁 英文主体 内容→ 語句意味, 発音, 文法, 文化	なし
<i>The Voyage and Other Stories</i> (絶版)	1977	北 星 堂	上 島 建 吉	B6	はしがき: 5頁 和文	88頁 5作品	“Notes”: 12頁 和文主体 内容→ 語句意味, 発音, 文学 史, 文化	なし

<i>In a German Pension</i>	1977	英潮社	内田道子	A5 変	はしがき: 16頁和文 + 文献: 5頁 英文主体 + 人物紹介: 3頁和文	117頁 13作品 (Penguin 版)	“Notes” (別冊):60頁 和文主体 内容→ 作品概要, 語句意味, 発音, 文法, 単文の訳, 文化	なし
<i>The Garden-Party and Other Stories</i>	1978	成美堂	真田時蔵・ 関憲治	B6	はしがき: 3頁和文	85頁 6作品	“Notes”: 35頁 和文主体 内容→ 語句意味, 発音, 文法, 文化	カ セ ッ ト
<i>Seven Short Stories by Katherine Mansfield</i>	1981	三修社	木村公一	B6	はしがき: 3頁和文 + 略歴と 作品紹介: 10頁 英文	74頁 7作品	“For Discussion”: 4頁英文 + “Notes”: 27頁 和文主体 内容→ 語句意味, 発音, 文法, 文化	カ セ ッ ト



<i>The Wrong House &amp; Other Stories</i>	1986	開 文 社	廣 田 稔	A5	はしがき: 3 頁和文	88 頁 6 作品	“Notes”: 41 頁 和文主体 内容→ 語句意味, 発音, 文体, 文法, 文化	な し
<i>The Doll's House and Other Stories</i>	1989	栄 光 社	上 島 建 吉	B6	はしがき: 4 頁和文 + 写真: 4 頁 + 年表: 3 頁和文 + 文献: 1 頁和文	70 頁 6 作品	“Notes”: 36 頁 和文主体 内容→ 語句意味 (図, さし 絵含む), 発音, 文法, 文化	な し
<i>The Garden-Party &amp; Other Stories</i>	1990 改装 新版	南 雲 堂	西 原 忠 毅 ・ 小 倉 多 加 志	A5	はしがき: 2 頁和文	93 頁 6 作品	“Notes”: 21 頁 和文主体 内容→ 語句意味, 発音, 文法, 文化	カ セ ッ ト